

平成28年度
第62回 山形県南北対抗柔道大会 山形県柔道高段者大会
大会実施要項

1 主 催

山形県柔道連盟

2 主 管

山形市柔道連盟

3 後 援

山形県 山形県教育委員会 山形県体育協会, 山形市, 山形市教育委員会
山形市体育協会, 山形県柔道高段者会, 山形県柔道整備師会 NHK山形放送局,
山形新聞・山形放送, 山形テレビ, テレビユー山形, さくらんぼテレビ

4 期 日 平成28年10月30日(日) 午前10時00分

5 会 場 山形市総合スポーツセンター(武道場)

山形市落合1番 Tel023-625-2288

6 日 程 審判・監督会議 午前 9時20分

開会式 午前10時00分

競 技 開会式終了後

7 参加資格

(1) 選手は県内に居住し、勤務又は在学している条件を満たすこと。

なお、地区別の基準は、勤務先又は在学先を基準とする。

※ 「出身地選手制度」の導入

但し、山形県警察柔道特別訓練員に指名されている者、山形刑務所柔道部員及び高校生で選手に指名されている者に限り、当該選手の出身地が属する地区柔道連盟から要請があった場合は、その該当する地区から出場することができるものとする。

(2) 選手は日本国籍を有し、全日本柔道連盟に登録していること。

8 実施要項

(1) 試合の順序

試合は山形県南北対抗柔道大会、山形県柔道高段者大会の順で行う。

(2) 試合の方法

ア 山形県南北対抗柔道大会

- ① チーム区分は次のとおりとする。

南軍＝米沢地区，置賜地区，上山市，山形，東村山地区の5地区

北軍＝酒田地区，鶴岡地区，最上地区，寒・西村山地区，北村山地区の5地区

- ② 各チームの出場選手等は次のとおりとする。

- 監督1名，副監督2名

- 男子選手

6段以上1名，5段3名，4段3名，3段6名，2段以下8名，補欠3名とし，3段以上は大学生又は社会人，2段以下は，社会人2名，高校生2名，中学生2名及び小学5年生又は6年生いずれかの2名で選手21名と補欠3名の合計24名（補欠3名の段位は各チームに任せる。）とする。

- 女子選手

16歳（大会日基準）以上の選手4名，補欠1名（段位の制限なし）の5名とする。

なお，出場選手数は各地区から男子5名以内，女子2名以内を原則とする。

但し，各地区で都合が付かない場合，チーム間で協議し選手選考に当たる。

- ③ 女子・男子選手合計50名の25組による「点取り試合」とする。

- ④ 選手の出場順序は，女子，男子の順とし，男女とも低段位者から高段位者で，かつ年齢順とする。

- ⑤ チーム編成（選手構成）は段位別とし，原則として同段位者をもって構成するが，同段位者に不足が生じ異なる段位者を起用する場合，直近の低段位者を充てることのできるものとする。

また，補欠を起用する場合も原則として同段位の選手を補充すること。やむを得ず段位の異なる選手を起用する場合，直近の低段位者を充てること。

なお，無段者及び小学生の選手に不安がある場合は，そのことを見越して予め補欠3名の中に入れることができる。

但し，この場合は同学年でなければならない。

- ⑥ 対抗試合の勝敗は，勝者数の多い方を勝ちとする。勝者数が同じの場合（内容は問わない）は，代表戦を行わず引き分けとする。

イ 山形県柔道高段者大会

- ① 大会は、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代及び70歳代以上（何れの年齢も大会日基準）の5部門とし、5段以上の者に限る。
- ② 試合方法は個人戦で、同段位の者との1試合（講道館の高段者大会方式）とする。
- ③ 同大会は男子のみとする。また、過去5年以内に、全日本柔道選手権大会及び成年の部で国民体育大会（東北総体含む）に出場経験のある者は、参加できないものとする。

(3) 試合及び審判

- ア 審判規定は「国際柔道試合審判規定」による。
但し、小・中学生は同規定の「少年大会申し合わせ事項」で行う。

イ 試合時間

- ① 南北対抗柔道大会
小学生は2分間、中学生及び女子は3分間、その他は4分間とする。
- ② 高段者大会
全て3分間とする。

- ウ 勝負の判定基準は、南北対抗及び高段者大会とも「有効」又は「指導の差2以上」とする。

但し、得点差がない場合は、南北対抗は僅差判定（旗判定）で優劣を決し、高段者大会は、「引き分け」とする（ゴールデンスコアは行わない）

- (4) 柔道着（背中）ゼッケンは、貼付の有無を問わない。

9 表彰

- (1) 南北対抗は、優勝チームを表彰するとともに、優秀選手（若干名）選考の上、賞状と賞品を授与する。
- (2) 高段者大会は、優秀選手若干名を選考し、賞状と賞品を授与する。

10 選手の報告

- (1) 監督の指名
監督を別添（表）のとおり指名（2年連続）する。
- (2) 各監督が中心となり、適宜な方法で副監督、選手を選出して、当該責任地区が取りまとの上、別紙1に記載し平成28年10月16日（金）午後5時まで、大会事務局宛に必着の手続きをとること。

大会事務局 〒990-0037
県柔連事務局長 縄野一史 宛
TEL090-8505-8908 FAX023-641-8818
e-mail:abusan23@gmail.com

(3) 責任地区の指名等

本年度の責任地区は、「南軍チームは米沢地区」、「北軍チームは酒田地区」とする。

また、高段者大会は個人参加であるが、地区ごと別紙2に記載し取りまとめて申し込むこと。

なお、小・中学生の場合は、別紙3の出場参加承諾書を同封すること。

11 参加費

(1) 南北対抗

各チーム 2万円

(2) 高段者大会（南北対抗とは別に徴収）

1人 1,000円（個人負担）

なお、それぞれの参加費は、大会当日受付に支払うこと。

12 組み合わせ

大会事務局で決定する。

13 その他

(1) 各地区柔道連盟は、審判員1～2名を選出し、別紙4に記載し平成28年10月15日（木）午後5時まで大会事務局に報告のこと。

(2) 高段者大会は、今後の昇段申請に必要な不可欠な条件となりますので、実体の伴った積極的な参加を促して下さい。

(3) 南北対抗柔道大会及び高段者大会に出場する各選手の傷害保険については、各軍で必ず加入すること。

(4) 昼食（弁当）の注文

昼食の注文を受け付けるので、地区（審判及び選手分）ごと別紙5に取りまとめの上、10月22日（木）まで、主管事務局に申し込むこと。

なお、代金（1食700円税込お茶付き）は大会当日釣り銭のないようにして「受付」で支払うこと。

【主管事務局連絡先】

〒990-2406 山形市神尾 488-38

山形市柔道連盟事務局長 熊澤 正人

TEL090-6257-3027 FAX:023-625-3465

e-mail:juuren2015@yahoo.co.jp